

ELIMINATING THE IDEA OF WASTE:

捨てるという概念を捨てよう

MAKE IT RECYCLABLE

リサイクル可能に



MAKE IT FROM RECYCLED MATERIALS

リサイクル原料から制作



MAKE IT REUSABLE

リユース可能に

INNOVATE WITH WASTE

廃棄物に革新的な
解決策



CLEAN UP WASTE

廃棄物を取り除く



テラサイクルの事業内容

1



普段は捨てているモノを回収し、リサイクルするプログラム

2



物語を持った製品づくり

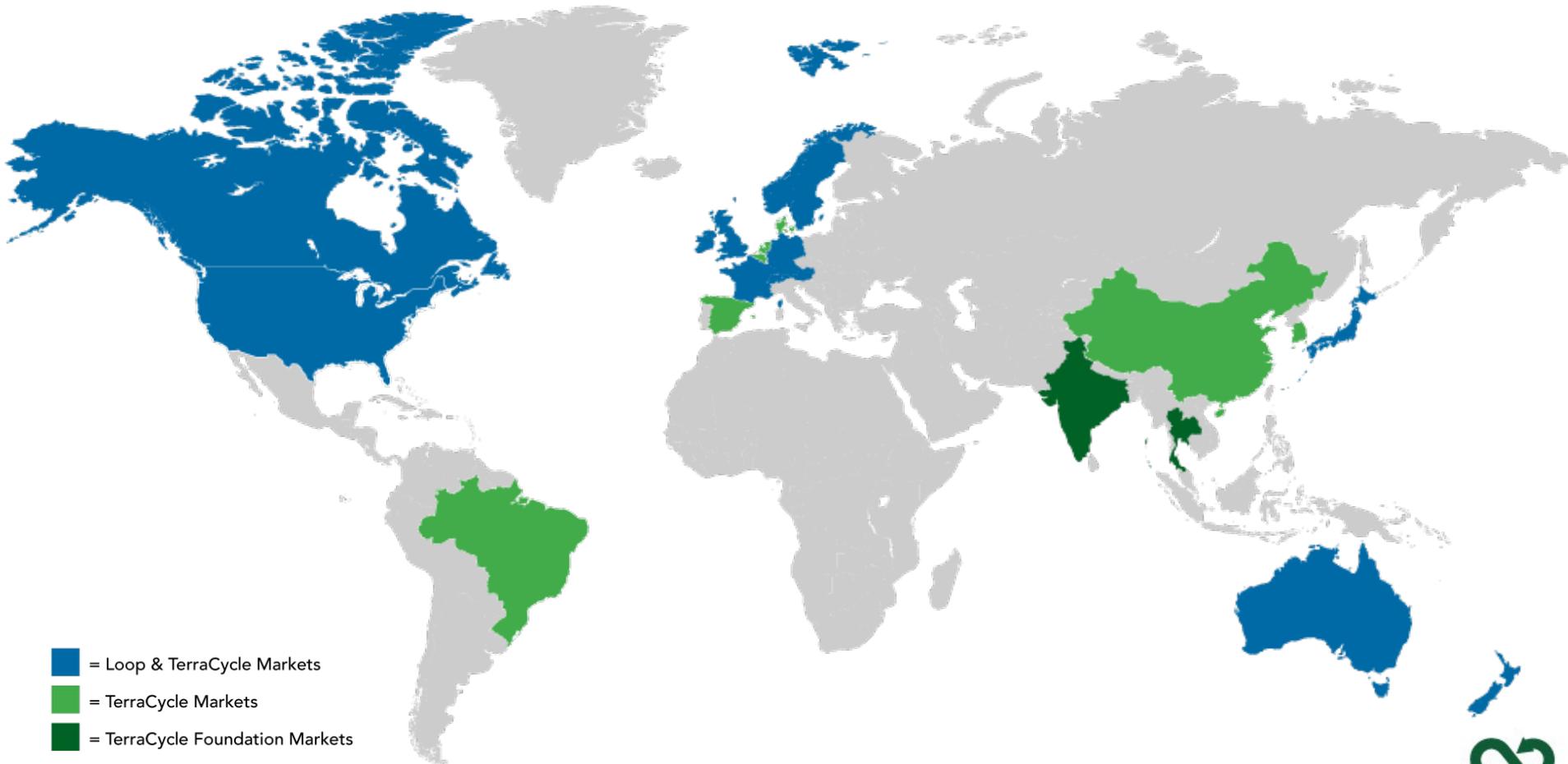
3



そもそもゴミを作り出さないリユースのショッピング「Loop」

テラサイクルはリサイクル界のグローバルリーダー

- 世界21カ国にて様々なリサイクルプラットフォームを展開
- 新たなリユースプラットフォーム "Loop" を世界各国主要都市にて拡大展開



伊藤忠商事(株)やSuez社、Landbell社、
Waste Connection社、RCRambiental社
など環境意識の高い企業からの出資

世界経済フォーラムやエレン・マ
ッカーサー財団など権威ある団体
とのパートナーシップ提携

18年の経験と350人以上もの
業界のエキスパートが集まる
多様なチーム



テラサイクルに関連する記
事が世界中のメディアに1日
約50件掲載



世界中で2億人以上の消
費者が私たちのリサイク
ルプログラムに参加



リサイクル回収量
が過去2年で200%
以上成長



捨てるという 概念を捨てよう

従業員数が過去2
年間で139%増加



4,400万ドル以上を慈
善団体や学校へ
寄付



世界中で毎月約45万kgの
リサイクル不可とされてい
る
ごみを資源として回収し
リサイクル



サステナビリティやソー
シヤルベンチャービジネス
分野において200以上の賞
を受賞



600以上の
大手企業様と
パートナーシップを締結

(グローバル企業から
非上場企業まで世界中で
40,000社を超える)

20年間に及ぶ
継続的な成長

毎日2億5,000万人
以上が回収に協力



WORLD
ECONOMIC
FORUM

OCEAN
PLASTICS
LEADERSHIP
NETWORK



CONDÉ NAST

テラサイクルは、
海洋プラスチックリーダーシップ
ネットワーク (OPLN)、
世界経済フォーラム、
プロダクトスチュワードシップ
協会 (PSI)、ダダリオ財団、
エレン・マッカーサー財団「CE100」、
アルタ・ビューティーなど、
廃棄物問題の解決に取り組む
主要組織の顧問を
務めています。



PROJECT
MAINSTREAM:



THE UK
PLASTICS
PACT



実用的なリサイクルを成立させるためには

実用的なリサイクルを成立させるためには、廃棄物処理するサプライチェーンが利益を上げる必要があります。

リサイクルビジネスの方程式：

物流と処理にかかる費用が、結果として得られる材料の価値よりも低い場合、その製品は実用的にリサイクル可能となります。



ロジスティックス費用



処理費用



出来上がるモノの価値



リサイクル可能

リサイクル可能なものとは？

多くの使用済み製品や包装材がリサイクル不可とされているのは、
技術面ではなく**経済合理性が成り立たないため**



リサイクル可能 リサイクルコスト低



リサイクル不可能 リサイクルコスト高



手間をかければリサイクルできる

(地理的アクセスの制限やリサイクルに関する制限)

テラサイクルの事業内容

1



普段捨てているモノを回収し、
リサイクルするプログラム

2



物語を持った製品づくり

3



そもそもゴミを作り出さない
リユースのショッピング
「Loop」

テラサイクルの提供する解決策 -- リサイクルプログラム --

1. 回収

現在分別対象となっていないリサイクルされないアイテムを回収する仕組み一般消費者へ提供



1.

2. リサイクル

回収されたアイテムは弊社の研究開発チームとリサイクラー業者と一緒に再資源化



2.



Eliminating
the Idea of
Waste®

3.

3. 企業へのROI提供

テラサイクルはブランドの企業価値をアップするためにCSR、マーケティング、売り上げアップのサポートを提供





業界を牽引する テラサイクルの研究開発チーム

テラサイクルの研究開発チームは応用化学やエンジニア分野において経験豊富な科学者やアプリケーションスペシャリストから構成されています。

彼らは20年以上に渡り、複合した原材料が使われているためにリサイクルが困難とされてきた廃棄物を新たにリサイクルする方法や、リサイクル材の開発、製法などを専門に研究しています。



廃棄物問題の解決のために

テラサイクルの研究開発チームは、地域的に従来リサイクル不可とされてきた廃棄物を専門とし、新たなリサイクル方法の確立や製品への研究開発に従事しています。

テラサイクルのデザインチームは、どのような使用済み製品やパッケージでも、アイデアとデザインのかでユニークなアップサイクル製品へ生まれ変わらせます。

CASE STUDY
Standard Supply Chain



CASE STUDY
Upcycled & Displays



CASE STUDY
Upcycled & Displays



CASE STUDY
Big Builds



回収プログラムを通して製作した再生品事例紹介



スキンケア容器から
ビューティースパチュラ



ハブラシから
植木鉢



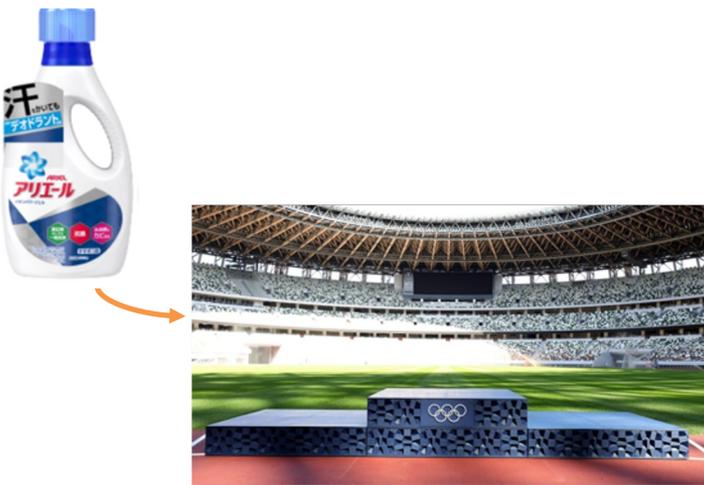
ヘアケア・ボディケア容器から
エコバック



化粧品容器キャップ
水平リサイクル



ジップロックから
ビニール傘やゴミ拾い用トンゲ



日用品容器から
東京オリパラ表彰台



車用芳香剤から
反射板キーホルダー

グリーンプロジェクト リサイクルプログラム

2021年11月より株式会社ロフトと協働し、化粧品空き容器の回収リサイクルプログラムを開始。全国のロフト155店舗(2023年10月10日現在)で、協賛35ブランドの使用済み空き容器を回収・リサイクルする。同社は他にも株式会社ネイチャーズウェイ、日本ロレアル株式会社グループ、株式会社パイロットコーポレーションなど、他社のリサイクルプログラムのボックスを設置している。

回収対象ブランド



50音順



ロレアル
ラロッシュポゼ
空き容器品回収



ネイチャーズウェイ
化粧品回収

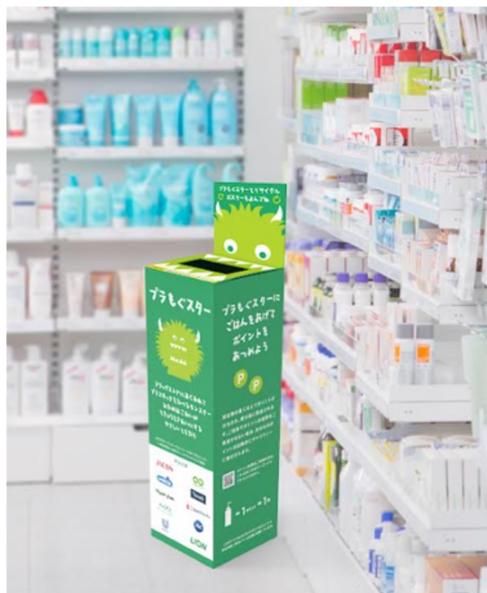


パイロット
筆記用具回収

2022年6月、日本チェーンドラッグストア協会のリーダーシップのもと、3つの大手ドラッグストアチェーンと4つのブランドが協働して、使用済み日用品容器と詰め替えパウチのリサイクルプログラムの実証実験を横浜市内で開始した。当社は共通の回収プラットフォーム構築のコーディネートを担当。実証実験を通して課題の洗い出しを行い、ドラッグストア業界全体の廃プラスチック問題の解決策となることを目指す。



期間：2022年6月30日 - 9月30日 回収拠点：横浜市内31店舗 回収対象物：使用済み日用品容器&詰め替えパウチ
 参加企業：ウエルシアホールディングス株式会社、株式会社トモズ、株式会社マツキヨココカラ&カンパニー
 花王株式会社、P & G ジャパン合同会社、ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社、ライオン株式会社



店舗内回収ボックスイメージ

回収対象物の説明ポスター

子どもたちの積極的な回収を促すために、“プラスチック容器を食べるのが大好き”というコンセプトのキャラクターを当プログラムのために制作した

○たべられるもの

つかいおわた日用品の
ボトル、詰め替えパック



シャンプー、ボディソープ、
ハンドソープ、洗剤の容器など



×たべられないもの



中身が残っているもの
ペットボトル、食品容器、チューブ、
中身が塩素系・酸素系・発火性
のある容器(エアゾール缶)など



※数種類ペットボトル



買い物カゴ製作

回収されたプラスチック容器と詰め替えパウチは、買い物カゴへとリサイクルし、2023年 JAPAN ドラッグストアショーで展示された。協賛ドラッグストアで使用される予定。

第一三共ヘルスケア

おくすりシート リサイクルプログラム

2022年10月20日より、第一三共ヘルスケア株式会社と協働し、日本初となる使用済みPTPシートを回収・リサイクルする「おくすりシート リサイクルプログラム」を開始した。1年間の実証実験では1t以上のおくすりシートを回収した。「もっと多くの拠点で回収をしてほしい」との市民からの声も多く、2年目より横浜市全区のドラッグストア・調剤薬局・公共施設の計83か所に拡大し回収を行う。



回収対象を第一三共ヘルスケア製品に限らず全ての医療用医薬品・OTC医薬品とすることで、「おくすりシート」がリサイクル資源であることの認知を高め、資源として循環する仕組みを確立させていく狙いがある



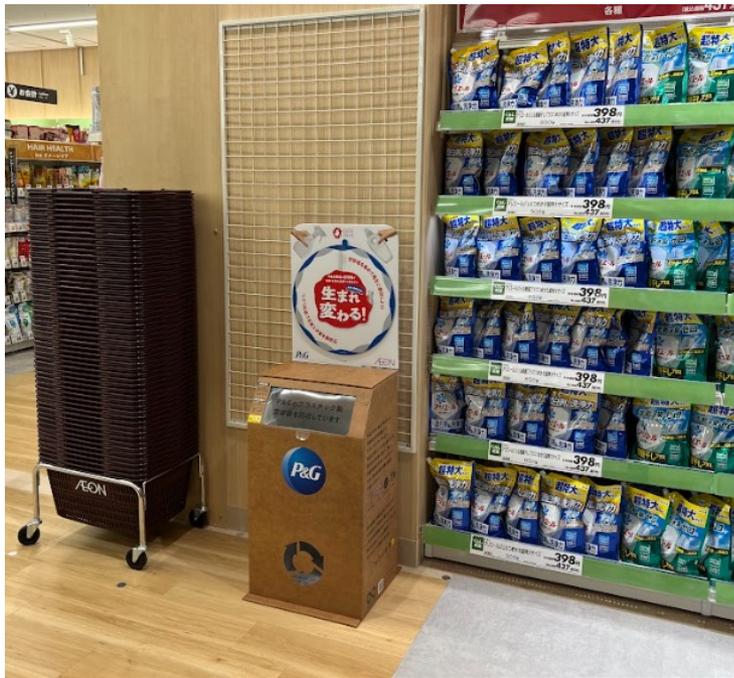


公益社団法人2025年 日本国際博覧会協会

ケーススタディ

EXPO 2025 みんなのリサイクルステーションプロジェクト

2023年10月19日より、全国のイオングループ650店舗※1に設置した専用の回収ボックスで、P&G製品を含む日用品の使用済みプラスチック製空き容器を回収。回収された容器は、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会が実施する運営参加特別プログラム「Co-Design Challenge」のもと、大阪・関西万博の会場に設置されるごみ箱（資源回収箱）の原材料にリサイクルする計画※2。本プロジェクトで製作されるごみ箱（資源回収箱）は、「これからのごみ箱（資源回収箱）」をテーマにデザインされ、万博終了後も市民の皆様に活用いただけるよう使い続けていく予定。



店頭での回収期間は、
2023年10月19日から
2024年11月30日まで

※1 2023年10月19日のプロジェクト開始時点では537店舗での回収を予定

※2 万博会場に設置されるすべてのごみ箱（資源回収箱）が本プロジェクトで製作されるわけではない





United Nations
Climate Change Secretariat

PROUD WINNER OF THE UNITED NATIONS MOMENTUM FOR CHANGE LIGHTHOUSE AWARD



海岸漂着プラスチックを活用した 買い物かご制作



イオン店舗にてKOSEロゴ入り買い物かご



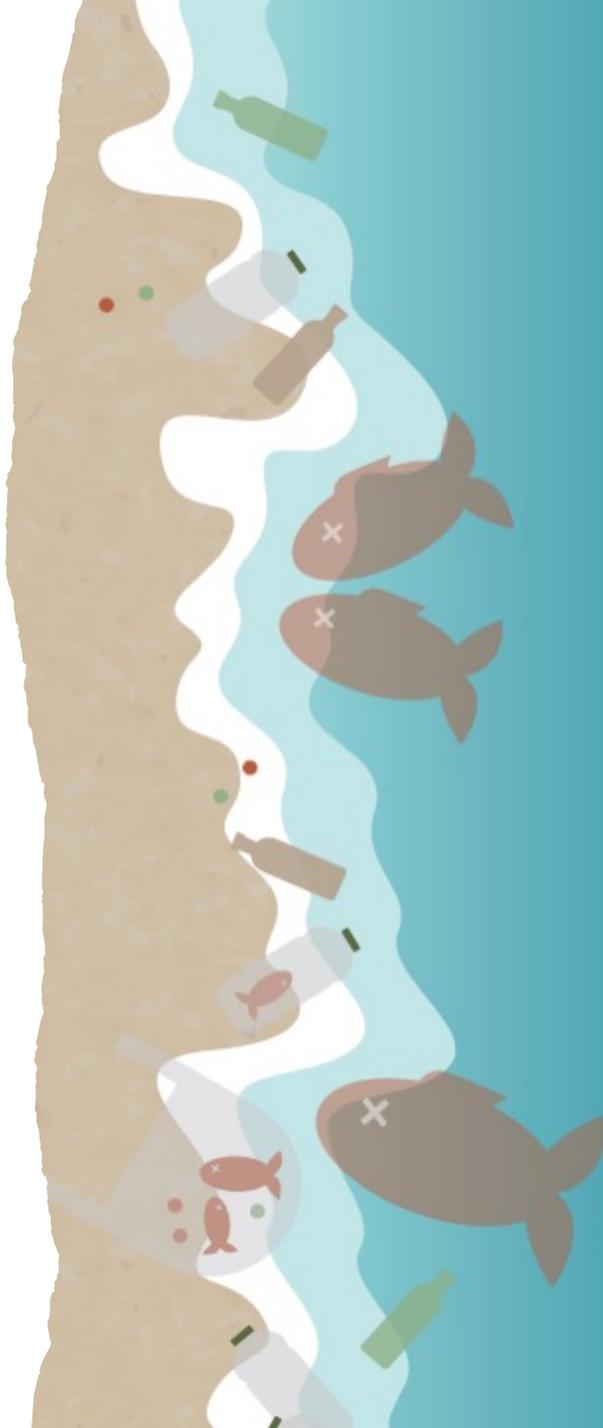
ファミリーマート店舗に自社制作買い物かご



丸久店舗にてニッスイロゴ入り買い物かご



コープこうべ店舗に自社制作買い物かご



2020年12月に株式会社パイロットコーポレーションと協働し、日本国内の海岸で回収された海洋プラスチックごみから油性ボールペンを製作。深刻化する環境問題に対してアクションを起こしたいという同社の熱意から、海洋プラスチックごみのリサイクル材を使った筆記用具第1号が誕生した。



「スーパーグリップG オセアンプラスチック」
税込110円



「スーパーグリップG ノック式」シリーズとは同社の人気商品。再生樹脂を使用した当商品も、本体やクリップにロゴマークやメッセージを入れられるノベルティタイプを用意するなどして、発売半年で売り上げ約50万本を記録した



海岸に漂着した海洋プラスチックごみ



海洋プラスチックのリサイクルペレット



パッケージには海洋プラスチックごみ問題にまつわるストーリーを掲載

テラサイクルとループは、
リサイクル事業とリユース事業で
環境問題の解決に取り組む
ソーシャルエンタープライズ

MAKE IT RECYCLABLE

リサイクル可能
に



MAKE IT FROM RECYCLED MATERIALS

リサイクル原料から製品を製作



MAKE IT REUSABLE

リユースを可能にする

INNOVATE WITH

WASTE
廃棄物に革新的な解決策



CLEAN UP WASTE

廃棄物を取り除く





exploreloop.com



Loopの目的は「捨てるという概念を捨てよう」



リユースモデルの比較

Loopは、これまでにないリユースの幅と利便性を提供します。

濃縮タイプ

濃縮可能な商品に限る
例) 窓クリーナーや洗濯用洗剤など。

リフィルステーション

小売店で消費者が充填することができる製品のみが対象。
例) コーヒー豆やナッツなど。

Loop プレフィール (事前充填)

パッケージ製品や衣料品、オン・ザ・ゴー食品など、あらゆる商品に対応可能です。

小売店の利便性

消費者の利便性

円のサイズ=製品ラインアップの機会

Loop は、メーカーが再利用可能な製品を作ることを可能にし
また小売業者が消費者の方々にその製品を提供する場を与える
リユース（再利用）を広げるための世界的なプラットフォーム

私たちの目標は、リユースを簡単に、便利に、そして手頃な価格にすることで
消費者がどこでも購入することができ、また簡単に返却できるようにすること

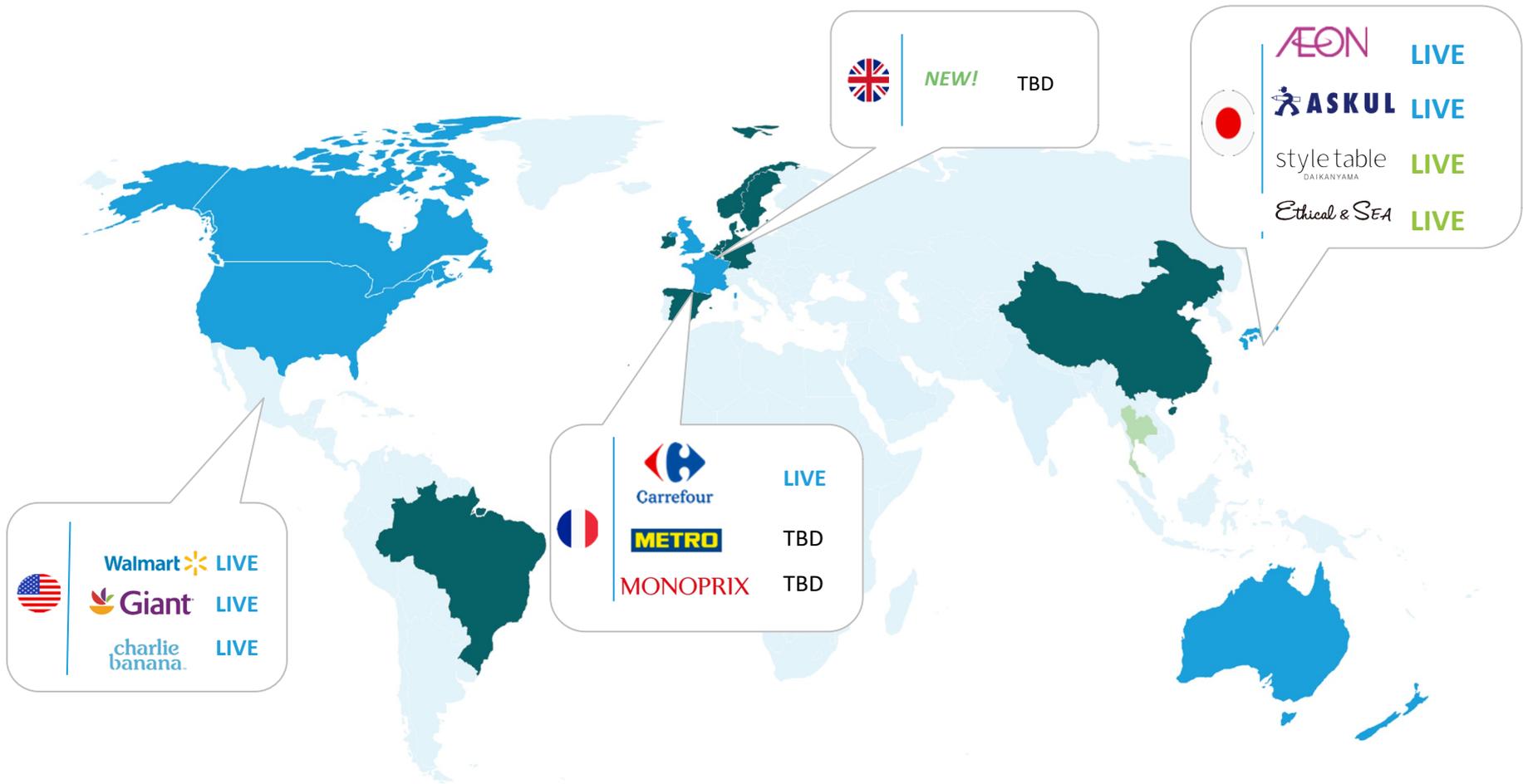


Loop グローバル展開

Loopはさまざまなステークホルダーと協力し、大規模にリユースを広げていく



グローバル展開状況



-  = Loop & TerraCycle Markets
-  = TerraCycle Markets
-  = TerraCycle Foundation Markets

過去から学ぶ

以前は、詰め替え用の耐久性のある容器が標準でした。

資産

歴史的に見ると、ひと昔前まで、製造業者は、耐久性があり再利用可能なパッケージを、自社の資産とし、製品のパッケージとして何度も使い回していました。パッケージに耐久性があると、1充填あたりのコストは低くなります。

現在の状況

使い捨ては、“安価”で“便利”



売上原価

パッケージが売上原価と見なされる場合、そのコストは充填ごとに割り当てられます。
パッケージが安いほど、充填あたりのコストは低くなります。

Loop容器に求めるポイント

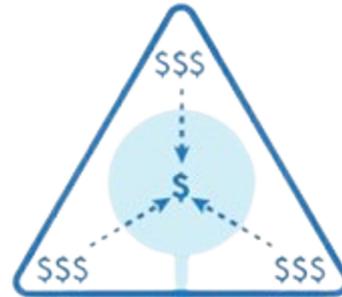
LCA（ライフサイクルアセスメント）

容器が寿命に達したときに
リサイクル可能であること。
保管輸送効率が良いこと。



洗浄性

容器は、洗浄・乾燥しやすい
設計であること。



最も
経済合理性がある

耐久性

容器は、最低でも10周以上の
使用が可能であること。
(1周 = 製造、販売、使用、洗浄)

Loopは容器の所有権をメーカーに

ブランドの売上原価

10円
費用

1回のみ使用

300円
資産

ブランドの資産
+
付加価値

100回以上の使用

10円

3円
+洗淨コスト



容器は、再利用性、美しいデザイン、そして最も重要なイノベーションを可能にする資産



既存容器

既存の容器をLoopのプラットフォームに乗せることで、再利用を促進する



耐久性テスト済み容器

Loopが推奨する容器でより迅速な発売を目指す
※日本専用カタログ準備中



カスタム容器

リユースによる消費者体験の向上のためのデザインやイノベーション



各ブランドのリユース容器の開発サポート、洗淨をLoopが管理



国内展開状況 - 販売商品

New!



サラヤ

現在11社から19商品を販売中



大日本明治製糖



大塚製薬



ユースキン製薬



ハインツ



フィッツコーポレーション



アース製薬



ネイチャーズウェイ



エステー



LUV WAVES of materials



ロツテ



P&G



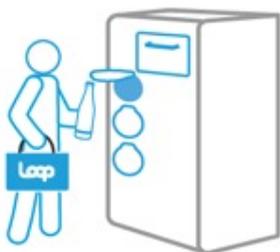
Loopのプラットフォームの構築

Loop販売店パートナー、Loop、ブランドのそれぞれの役割

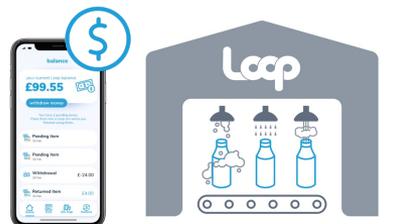
小売店



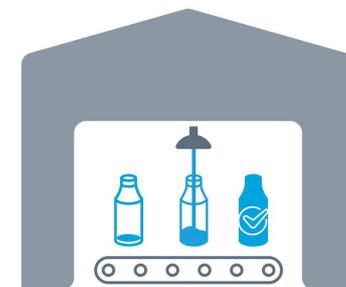
小売店



Loop



各ブランド



店舗での販売

中身代と容器代を分けて
売価記載

容器返却拠点 回収作業

店舗内に返却ボックス設置ま
たはサービスカウンターで使
用後のリユース容器の受け取
り、バックヤードで保管

デポジットの返金 容器の保管・洗浄

Loopはお客様へ
デポジット代を返金し、
使用済み容器を保管・洗浄

再充填

洗浄されたリユース容器は
各メーカー工場で再充填され、
店舗で再度販売

Loop

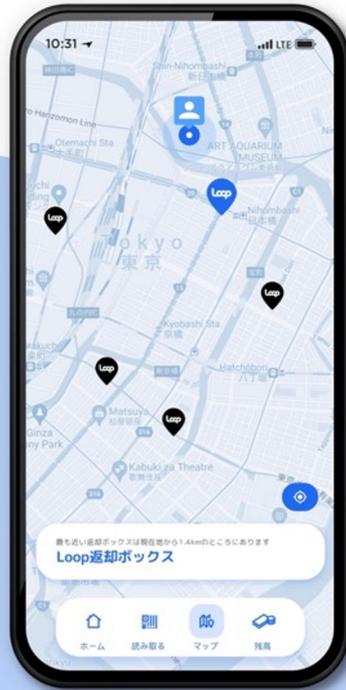
Loopアプリ



- Loopは、預金の払い戻しを含むすべての回収プロセスを管理
- 柔軟な対応により、消費者のために容器の返却を更に容易に
- 消費者はいつでも返金されたデポジット代を引き出すことが可能
(別アプリPringと連携で月1回銀行口座の送金無料)

1

最寄りの返却ボックスを探す



2

二次元バーコードを読み取って、
利用済みの容器を返却



3

預かり金の払い出しをする



国内展開状況 - 販売箇所

2021年5月イオン・イオンスタイル関東19店舗で展開開始し、2023年10月現在101店舗で展開中



New!

茨城県	1
埼玉県	11
群馬県	1
千葉県	16
東京都	18
神奈川県	13
静岡県	1
滋賀県	1
京都府	8
奈良県	3
大阪府	10
兵庫県	10
広島県	9
計	101



AEON

トップリュウベスタブライズ
10ね大賞



Loop 専用返却ボックス



今すぐ登録しよう!



アプリを利用できない方は
こちらのご注文履歴カードを読み取り
Loop専用アプリをダウンロードしてください



- 読取**
QRコードと商品コードを読み取り専用アプリで読み取る
- 返却**
商品を返却ボックスに入れる
- 確認**
Loopで専用通知を受け取り専用アプリで専用表示を確認



電子決済
Loop
詳しくは
アプリ
こちらがLoopの専用
サービス



Loop AEON

ご不明な点は、サービスカウンターまでお問い合わせください

1. QRコードを読み取り専用アプリをダウンロード
2. お店に入店し商品を読み取る
3. 専用アプリで専用通知を受け取り専用表示を確認
4. 専用通知を受け取り専用アプリで専用表示を確認
5. 商品を返却し専用通知を受け取り専用表示を確認

Loop AEON



1. QRコードを読み取り専用アプリをダウンロード
2. お店に入店し商品を読み取る
3. 専用アプリで専用通知を受け取り専用表示を確認
4. 専用通知を受け取り専用アプリで専用表示を確認
5. 商品を返却し専用通知を受け取り専用表示を確認

地域との連携を強化してLoopのサービスを拡大

Loop



全国各地のサステナブルな未来作りをサポート。

Loop Go Local



Loop Professionalのご提案

LoopのB2Bプラットフォーム利用することで、革新的なサステナビリティの道を切り開き、
業界をリードする。
(東京都環境局 令和3年度 革新的技術・ビジネスモデル推進 採択プロジェクト)





B2B商品のリユース容器イメージ





Loop B2B商品の利用想定 of 業態

Hotels



Spas ▪ Salons



Offices



Restaurants



Stadiums



Golf Course ▪ Clubs







国際プラスチック条約 企業連合（日本）

野心的で法的拘束力のある条約制定に向けて

2023年11月1日 国際プラスチック条約 企業連合 (日本) 発足

日本での発足の背景、目的

国際条約をこれまでの国別の規制の寄せ集めとしての形式的なものではなく、**拘束力を持つ野心的な世界共通ルールに基づくもの**とすることが、**問題解決を積極的に進める日本企業**にとって極めて重要

条約の具体的な内容の議論が始まる11月13日からのINC-3の開催に際し、プラスチック汚染の解決を推進する企業自らが、**交渉で重要な役割を担う日本政府に対し**、野心的な国際条約とすることにリーダーシップをするよう呼び掛ける



問題解決に積極的に取り組む企業にとって野心的条約は機会をもたらす

野心的で実効性のある国際条約は、プラスチックのバリューチェーンにおいて**公正な競争環境**を築き、**産業の変容**や既存の自主的な取り組みを加速させ、自然環境だけでなく**ビジネスにも利益**をもたらす

1

マーケット全体において、運用を簡潔化しコンプライアンスリスクを軽減するために**政策や規制を調和**させる

2

プラスチック汚染に対処する中長期的な計画を策定することで、プラスチックのバリューチェーン全体での取り組みを調整し、**企業が野心的なコミットメントを実現する可能性を高める**

3

企業がプラスチック汚染を解決するために、**コンプライアンスを精査するコストを管理可能**とし、十分な内容で投資計画を立てられるようにする

4

プラスチックのバリューチェーン全体でのレポーティングを簡素化し「取り組みの進捗」と「企業のレピュテーションリスク」を効果的に計測するために、**透明性を高める**

企業連合が目指すこと（グローバル/日本 共通）

- サーキュラーエコノミーの原則に沿った野心的で法的拘束力のある条約を実現するために、**国際条約の交渉プロセスに影響を与える**
- 2024年末を目途に多国間の条約交渉が終了するまで活動を継続予定

1

条約を野心的かつ実効性のあるものとするため、**明確で一貫した洞察に基づく提言**を行い、交渉における**重要な要素と優先的な政策上の検討事項**について情報提供する

2

プラスチックのサーキュラーエコノミー実現という共通の目標を持ち、プラスチック汚染を根絶するために**効果的で法的拘束力のある条約の発足を支援する**強い意志を持つ世界の主要な**企業、金融機関、NGO、企業団体を包摂したグループ**を招集する

3

企業、NGO、金融機関による調和のとれた共通のキーメッセージやインプットをを政府に届けるために**政策提言**を行う

4

野心的で効果的な条約策定にあたり、プラスチック汚染を根絶するためのシステム変革に向けた原動力となることにつき**企業コミュニティの確信を醸成**する